

## 「城山自治会防災訓練」 時間割

時刻	訓練名	訓練内容(人々の行動)
8:30	(訓練開始)	いわき市総合防災訓練の緊急速報メール、防災メールにより訓練開始合図(緊急地震速報、地震発生)
8:32	情報伝達訓練	大規模地震の発生により、土砂災害警戒区域ではがけ崩れ等の被害が発生していることを懸念し、各土砂災害警戒区域での緊急連絡網を使って相互に安否確認を電話、または避難時のドアたたき、声かけ等により行う。 その際、 ①本日は便宜的に城山公民館へ避難すること ②自宅のブレーカーを切り、戸締まりを行うことを伝える。
8:35	避難実働訓練① (9:00頃全員避難を想定)	緊急連絡網での情報伝達を受け、住民は自宅から城山公民館へ(徒歩で)移動する。 避難時の装備(防寒具、非常持ち出し袋等)は各住民に委ねる。 誘導員が交通量の多い横断歩道に立ち、交通誘導を行う。
8:35	避難実働訓練② (避難実働訓練①②連動し9:15頃終了を想定)	城山公民館へ到着した住民は、屋外に「受付」を設営し、組・班ごとに受付(安否確認)を行う。受付を通過した「避難者」は、「ふりかえり①」へ移行し、全員の避難完了を待つ。
9:15	ふりかえり① 避難者(参加者)による地区内概況報告 (組・班ごとに聞き取り、用紙に記入。9:40頃終了を想定)	参加者は組・班ごとに、避難経路上の課題: ①危険な場所 ②危険な道路 ③避難を通して感じたこと について確認し合い、用紙に記録する また、「一人暮らしの安否を確認したか?」、「避難のサポートをしたか?」もお互い確認する。
9:40	ふりかえり② 全体で地区内概況報告を共有する (参加者数にもよるが10:10頃終了を想定)	参加者全員で地区の拡大マップを用いて、 ①避難経路(当日歩いてきた経路をカラーペンで記入) ※各代表者が記入しながら説明 ②組・班ごとにまとめた「危険な場所」、「危険な道路」、「避難を通して感じたこと」について確認し合う。 ※各代表者が発表し、記録役がマップに記入していく
10:10	区長挨拶、地区の防災課題、防災まちづくり活動紹介など (10:40終了)	①城山自治会挨拶 ②地震発生時の行動確認(火の元、戸締りなど) ③地区の防災課題 ④防災まちづくり支援事業の取り組み紹介 について報告・講話をいただき、参加者は床に座って聴講する。
10:40	非常用紙食器作り	<炊き出し配布前・待機時間に実施> 災害時に食器が不足することを想定し、入手しやすいチラシ等の紙を使って折り紙の要領で食器を作る。指導役の進行で、参加者はその場に座ったまま紙食器を作る。 紙食器の衛生面・再利用の観点からサララップを被せることを説明(※サララップは炊き出し配給直前に行う)。
10:50	炊き出し訓練 (10:50に間に合うよう別行動で8:30から●●で準備する)	住民は自治会で備蓄または用意可能な食材、釜等を用いて(豚汁、おにぎり)を作る。
10:50	物資配給訓練	配給する前に、配給訓練の説明、本日の炊き出しで工夫した点(薪を使用など)の取り組みについて紹介する。炊き出しにより完成した(豚汁、おにぎり)を参加者が協力して配付する。
11:25	講評	平消防署の職員から訓練の講評をいただく。
11:30	終了 (片付け後12:00までに撤収)	